

## 令和5年度 第6回逢妻地域会議 会議録

■日時 令和5年10月18日(水) 午後6時30分～午後7時45分

■場所 逢妻交流館 1階 多目的ホール

■出席者

＜委員＞	岡田 一(会長)	川瀬 光和(副会長)	竹原田 力
	永井 晃彦	鈴木 靖夫	松崎 康則
	大高 日出子	三村 義博	岩内 輝義
	今村 典生	篠田 和明	光岡 博
	鈴木 仁	永田 雅司	鷲野真由美
	加藤 圭一		
＜欠席者＞	中野 有紀		
＜事務局＞	松下 誠(拳母事務所 副所長)	田嶋 優俊(地域支援課 担当長)	
	近藤 綾香(地域支援課 主事)		

### ■次第

- 1 会長あいさつ
- 2 答申に向けた協議
  - (1) グループワーク
  - (2) 協議内容共有

### ■議事(要約)

#### 2 答申に向けた協議

9月の地域会議で出た意見を基に、グループ内で答申書に記載すべき内容についての意見交換を実施した。各グループでの主な検討内容は次のとおり。

##### ＜Aグループ＞

##### ○めざす姿について

- ・キーワードは「つながり」。町の発展には人と人とのつながりが重要
- ・コロナ禍で家族間・自治区間のつながりが希薄になってしまったので、逢妻地域として一つにまとまることを目指したい。

##### ○まちづくりの基本的な考え方について

- ・キーワードは、「固定概念を変える」、「住民意識を変える」。
- ・まちづくりを進める自治区等の地域組織が意識を変え、積極的に若者と関わるようにしたい。
- ・あるものを生かすことも重要。

##### ○ミライ実現戦略2030の方向性について

- ・キーワードは「若者世代とのつながり」
- ・逢妻地区では、新しい住民も多い(特に美山小学校区で人口が増えている。)ので、そういった方に地域の魅力をアピールし、地域活動に参加してもらいたい。
- ・地域の若者とのつながりを大切にしたい。
- ・逢妻地区の二十歳のつどいでは、中学生ボランティアを募り、協力してもらっている。

- ・逢妻地区には看護大があり、自治区の行事等に参加してもらっている。
- ・地域に愛着を持ってもらうために、伝統文化の棒の手や、逢妻女川などの自然の魅力を伝えていきたい。
- ・課題としては、地域の高校生にボランティア等について声をかける機会がないこと。

○その他の意見

- ・高齢化が進んでいるため、地域バスを運行していただきたい。
- ・逢妻旧交流館を有効活用していただきたい。

<B グループ>

○めざす姿について

- ・キーワードは「つながり」。
- ・子どもころから棒の手などの地域の伝統文化や地域のイベントに参加していれば、大人になっても地域活動に参加してもらえるのではないかな。
- ・スポーツで人と人とのつながりを深める。

○まちづくりの基本的な考え方について

- ・キーワードは「変わる」
- ・気持ちの変化、変わる勇気をもつ⇒3つの「変える」を意識する。
- ・行事を時代に合った見直しをし、変えていく。

○ミライ実現戦略2030の方向性について

- ・キーワードは「子どもに地域への愛着をもってもらう」
- ・南バイパスが開通すると、その周辺に人が集まってきて地元愛が高まり、子どもも地域に愛着を持ってくれると思う。
- ・南バイパスの高架下に集いの広場を作るなど、スペースを有効活用したい。
- ・逢妻女川や調整池等の自然と共存する、また、自然を生かす。
- ・次世代を担う子どもの育成をする。

○その他の意見

- ・20年後、40年後を見据えた交通計画をお願いしたい。
- ・バスだけでなく、自治区ごとに予約制バスを運行する。

●次回逢妻地域会議

日時：令和5年11月15日（水）午後6時30分～

場所：逢妻交流館 1階 多目的ホール